

## 64年の時を経て 遺族が慰霊碑訪問

朝鮮戦争中の昭和27年（1952）8月8日（金）未明、豊茂の金山出石寺山腹に米軍飛行艇が墜落し、乗組員14人全員が死亡する事故が発生しました。

事故後、現場には墓標が建てられました。草木に覆われてしまいい、平成20年に、地元住民により慰霊碑が建てられました。その後は慰霊祭が行われるなど、豊茂慰霊碑保存会が中心となり、事故が現在に伝えられています。

当時24歳で亡くなった副機長のドナルド・E・リチャードソンさんの娘で、アメリカのテキサス州在住のキャサリン・R・マクマケンさんは、墜落現場に慰霊碑があることをインターネットで知り、4月12日（火）、夫とともに初めて大洲市を訪れました。



市役所で清水市長、慰霊碑保存会のみなさんと面会したキャサリンさんは、「父は私が生後4カ月で亡くなり、一度も会うことができなかった。地域のみなさんに素晴らしい慰霊碑を建ててもらい、感動している」と、感謝の気持ちを伝えられました。

保存会の寺田<sup>てら</sup>照夫<sup>あきお</sup>会長は、「この日を心待ちにしていた。遺族に来ていただいたことで、長年の慰霊の思いが報われた。このことが日米親善の一助になればと願っている」とあいさつされました。



市役所訪問後にキャサリンさんらは、飛行艇の着陸予定地であった、米軍岩国基地を望むように建つ慰霊碑を訪れました。一行は黙とうを捧げ、献花した後、寺田さんが地元の消防団員として救出作業に加わった事故当時を振り返り、慰霊碑を建てた経緯を説明しました。

最後に寺田さんは、遺体捜索や消火の際に見つけた飛行艇の部品や、機内にあったフライパンなどの遺品を、日米の国旗とともにキャサリンさんに手渡しました。



## 第52回 新就職者激励大会

4月12日(火)、新就職者激励大会がリジエール大洲で開催され、新たに大洲市に就職した102人が出席しました。

主催者を代表して、井関和彦(わづみ)大洲商工会議所会頭は「期待と不安が両方あると思うが、それぞれの立場で仕事の意義を見いだして頑張ってほしい」と述べました。

続いて社会人の先輩である、株式会社愛媛銀行大洲支店往田紫織(むらた)さんが「若さと情熱をもって自己研さんに励み、友達を多く作りながら一日一日を大切にして、自分の道を切り開いていってほしい」と激励の言葉を述べました。



新就職者を代表して、仙味エキス株式会社芝田拓己(たくみ)さんと、株式会社伊予銀行大洲支店水野裕子(ゆうこ)さんが「将来に希望をもって、大洲市のために、新たな第一歩を踏み出したい。自己啓発に努め、地域の伝統・文化を大切にしながら、温もりのある地域社会づくりに貢献できるよう努力したい」とお礼の言葉を述べました。

その後、交流会が行われ、新就職者のみなさんは、名刺を交換するなど、情報交換や新たな人脈づくりをしていました。また、新就職者による自己紹介では、それぞれが抱負や決意を発表しました。

## 「おおず歴史華回廊」出発式

「えひめいやしの南予博2016」の地域コアイベントである、「おおず歴史華回廊」の出発式が4月29日(金)、大洲まちなか駅前あさもやで開催されました。

「おおず歴史華回廊」は、大洲を知り尽くした案内人とともに、肱南地区を中心とした市内のさまざまなコースを巡るまち歩きイベントです。出発式では清水市長が「肱川の流れとともに紡いできた、大洲の歴史の素晴らしさを知ってもらうためのイベント。参加されるみなさんには、時の流れを楽しみ、ぜひリピーターになってほしい」とあいさつしました。



続いて、現在活躍している4人の案内人と、5カ月間にわたるガイド初級講座を受講し、実践デビューを目指す10人の市民のみなさんの紹介がありました。その後、おはなはん通りでテープカットが行われ、出発式の参加者がまち歩きコースを体験しました。

イベントは11月13日(日)までの土・日・祝日に行われ、季節に応じたコースが用意されます。

## 大きく育つてね 〓 稚アユ放流〓

肱川での豊漁とうかいの成功を願い、4月20日(水)、大洲市観光協会による稚アユの放流が、肱川如法寺河原で行われました。

この日は晴天に恵まれ、肱川漁業協同組合の協力の下、肱南保育所(谷田佳織かおる所長 児童55人)の4歳・5歳児23人が「大きくなつてね」のかけ声とともに、稚アユを小さなバケツから川へ放しました。

この日放流された7〜8センチの稚アユは、漁が解禁となる6月には20センチ前後に成長するそうです。



## 愛媛県市長会春期会議が開催されました

平成28年度愛媛県市長会春期会議が4月26日(火)、リジエール大洲において、県内11市長が参加して開かれました。

会議では、各市から提出された防災、環境、建設など各分野の議題が審議されました。大洲市からは高速道路ネットワーク整備促進、四国への新幹線導入の議題を提案し、活発な意見交換が行われました。

今回議決された要望事項は、四国市長会に提出され、取りまとめられたものが全国市長会を経て、国への要望として提出されます。



## 願いを込めて 元気に泳げ

毎年5月3日に開催される「大川鯉のぼり祭」を盛り上げるため、鯉のぼり作りが4月21日(木)、地元の大成保育所(日浦和美かずみ所長 児童16人)で行われました。児童たちは、大川鯉のぼり川渡し実行委員会のみなさんに教わりながら、カラーテープやマジックを使い、オリジナル鯉のぼりを楽しそうに作成していました。

今年で9回目を迎えた祭り当日、開会式で実行委員長しょうへいの松岡昇平さんは「地域の宝である子どもたちの健やかな成長を願い、地域の活性化につながればという思いで続けている。今年も盛大に開催することができ、みなさんに感謝



している」とあいさつされました。会場では各種バザーのほか、和太鼓の演奏や創作ダンスなどのイベントも行われ、多くの来客でにぎわっていました。雨模様の天気でしたが、約200匹の鯉のぼりは風を受けて元気に空を泳ぎ、訪れたみなさんの目を楽しませていました。



# 情報の共有で住民の安全安心確保を

大洲市、内子町および大洲警察署による「安全・安心情報等の提供に関する協定」の締結式が4月21日(木)、大洲警察署で行われました。

この協定は、両市町が保有する防災行政無線を活用して、重要凶悪事件などの緊急情報や、安全安心のために有用な情報を、地域のみなさんに迅速かつ的確に提供しようとするものです。

締結式で清水市長は「みなさんが安心して住める地域をつくるためには、情報の共有や提供が必要



となる。これからも、さまざまな機関と提携し、地域の安全安心を守るための取り組みを進めたい」とあいさつしました。

二宮幸仁大洲警察署長は「自治体との連携を強化し、災害や行方不明事案をはじめ、事件や事故の迅速な情報発信により、治安対策を強化していきたい」と話されました。

こうした協力体制を積み重ね、みなさんが情報を共有することにより、犯罪の起きにくい社会づくりにつなげていきます。

## 熊本地震に伴う緊急消防援助隊が派遣されました

4月14日(木)から続いた一連の熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊愛媛県隊第2次隊が、4月19日(火)から20日(水)までの間、熊本県益城町、西原村で現場活動を行いました。

大洲地区広域消防事務組合からは、救急救命士4人が現地入りし、益城町で救急活動を行いました。二宮敏浩救急部隊長は「家屋の倒壊、道路の損傷は予想以上のものだった。指揮隊など、関係各所との情報共有が重要であると、あらためて感じた」と話されました。東日本大震災、広島土砂災害に続く3度目の派遣となった福岡誠啓隊員は「ライフライン、特に水の備蓄が重要だと感じる。



また、普段から近所の人と顔の見える関係づくりをしておくことが、災害発生後の生活にプラスになる」と話されました。

4月27日(水)には、清水市長へ活動実績や避難所の状況などの報告が行われました。



# 6月は土砂災害防止月間です

身を守るための3つのポイント



**① 住んでいる場所が土砂災害危険箇所か確認する**

土砂災害の恐れのある地区は土砂災害危険箇所とされています。普段から自分の家のまわりの危険箇所を、県や市のホームページ、近くの公民館で確認をおきましょう。



**② 雨が降り始めたら土砂災害警戒情報に注意する**

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに発表される防災情報です。気象庁や県のホームページ、テレビやラジオの気象情報で確認できます。



**③ 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する**

土砂災害警戒情報が発表されたら、移動時にも含めた早めの避難が必要です。また、暗くなってからの避難は危険であるため、予測しながら早めに避難しましょう。避難所は市ホームページで確認できます。

<避難情報の違い>

種類	発令時の状況	市民に求める行動
自主避難	災害の危険が迫っていると自ら判断した場合	必要に応じて地域の避難所などに避難する
避難準備情報	人的被害発生の可能性が高まっている状況	高齢者や障がいのある人など、避難に時間のかかる人は避難所へ早めに避難する
避難勧告	人的被害発生の可能性がさらに高まっている状況	通常の避難ができる人も、避難所へ速やかに避難を始める
避難指示	人的被害発生の可能性が非常に高まっている、またはすでに被害が発生している状況	まだ避難をしていない人はすぐに避難所へ避難する

【県ホームページ】

愛媛県土砂災害危険箇所マップ <http://www.pref.ehime.jp/h40700/5743/dmap/>

【市ホームページ】

大洲市土砂災害危険箇所マップ <https://www.city.ozu.ehime.jp/soshiki/kikikanri/0374.html>

大洲市指定避難所 <https://www.city.ozu.ehime.jp/soshiki/kikikanri/0630.html>

【問い合わせ先】 危機管理課 ☎24-1742

## 〈ジャガイモのシンプルサラダ〉



(材料2人分)

ジャガイモ	100 g	A {	オリーブ油	大さじ1/2
アスパラガス	20 g		酢	大さじ3/4
ハム	20 g		塩	少々
タマネギ	20 g		黒こしょう	少々

## 作り方

- ① ジャガイモは皮をむき、食べやすい長さの千切りにして水にさらし、熱湯でさっとゆでておく。
- ② アスパラガスは1 cm程度の長さの斜め切りにし、ゆでておく。
- ③ ハムは半分に切り、1 cm程度の千切りにする。タマネギはみじん切りにして水にさらしておく。
- ④ ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、そこに水気をきった①②③を加え、全体をあえる。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

## ージャガイモの栄養素ー

疲労回復、肌荒れに効くビタミンCや、高血圧予防に効果があるカリウムが豊富に含まれています。

## ージャガイモの保存方法ー

遮光された棚やキャビネットの中などに、かごや穴を開けたポリ袋に入れ、暗くて涼しく、通気性のよい場所で保存しましょう。

## 文化財



大洲城 おわたやぐら  
 国指定重要文化財(建造物)  
 大洲市所有

大洲城内に現存する4棟の櫓のうちの一つで、二の丸東隅の脇川に面した櫓です。創建年代は江戸前期ごろと考えられますが、現在の櫓は一度大破したものを天保14年(1843)に再建したものです。1階には下見板張で袴腰形の石落としを、2階には脇川に向けた出窓を備えています。

櫓は軍事施設としての役割のほかに、軍需物資を貯蔵するという大事な機能もあり、櫓の名称には内部に貯蔵する物品名を付けることがあります。本櫓の芋綿とは布や糸などの原料にもなる繊維で、その貯蔵庫だったと考えられます。

本櫓は昭和34年(1959)に解体修理が行われましたが、洪水の被害を受けないよう石垣が約2.6 mかさ上げされています。

(昭和32年6月18日指定)

## 野鳥



ホトトギス(杜鵑)  
 カッコウ目 カッコウ科  
 全長28cm

5月の中旬にやってくる、ヒヨドリぐらいの体形のカッコウの仲間です。昼夜を問わず「テッペンカケタカ、特許許可局、ホトトギス」と鳴くことは有名で、愛媛ゆかりの正岡子規も、その姿に自分を重ね合わせ、名前を付けたといわれています。

身体のカカ模様は、たくらん托卵(ほかの野鳥の巣に自分の卵を産みつけて子育てしてもらうこと)する時、親を追い出すのに有利です。そして、比較的多く生息しているウグイスに、色までそっくりの卵を一個産み落とします。卵はいち早くかえり、巣を独り占めして巣立つそうですが、とても不安定な条件で命を繋いでいて、まさに神業です。知れば知るほど奥が深い自然界は、感動の連続です。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

## ALT (外国語指導助手) のつぶやき

### 「春にライラックが咲く街」



ジェシカ・リードさん

ニューヨーク州ロチェスターは私の出身地で、小麦粉と花の街として知られています。ロチェスターは工場の街として築かれ、偉大なジェネシー川沿いに小麦粉を生産してきました。現在のロチェスターは、工場は動いているけれど、もう小麦粉を生産しなくなりました。

代わりにロチェスターは、春に庭や公園にたくさんの花が咲く、「花の街」として知られるようになりました。特に、毎年5月に開催されるライラックフェスティバルは、118年もの歴史があり、約50万人の観光客が訪れます。

ライラックは市の花であり、私はいつも、街中が花の香りに包まれるのを待ち望ん

でいます。公園を彩る紫やピンク、白いライラックの花は本当に美しく、公園を歩く人たちを楽しませてくれます。フェスティバルでは、多くのライブコンサートが開催され、もちろんロチェスター名物の「garbage plate (フ<sup>ガービッジ</sup>ライドポテトとマカロニサラダにハン<sup>プレート</sup>バーガーをのせて、ミートソースをかけた食べ物)」も食べることができます。



## 大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

雨に映えるショウブの花が美くなりました。毎年6月になると、稲積のショウブ園では、地元住民らの協力によって見事な花を咲かせています。稲積地区の美しい田園風景(棚田)に、花ショウブ120種類、アジサイ250種類、秋には彼岸花が咲き誇ります。きれいなショウブとアジサイを楽しみに多くの観光客が訪れます。

### 【今月のクイズ】

「えひめいやしの南予博2016」のいやし体験プログラムにもなっている、稲積のショウブ園。タイトルは何でしょうか。

- ① 稲積癒やしの花祭り
- ② 稲積ええとこ  
一度はおいで
- ③ 稲積の棚田  
ショウブ花まつり



### 【先月号のクイズの解答・解説】

富士山観光売店は今年で開幕何周年でしょうか。

- ①15年
- ②35年
- ③45年

回答…②

解説…今年で35周年を迎えた富士山観光売店。今年にはゴールデンウィーク前がツツジの見頃でしたが、たくさんの人にツツジを見ていただきました。

売店をお手伝いしていると、「今年も来ましたよ」となじみの人から声をかけていただき、「今日は香川から来ました」との声もありました。

そんな触れ合いが35年続いていると思うと、富士山は大洲の名観光スポットだと、あらためて感じました。

※今月のクイズの答えは、広報大洲7月号に掲載します。

